

未来ラボ「祭×SDGs」提案書

— 多文化共生・DEI 推進に向けた共創型プログラム —



「祭×SDGs ～座学と阿波踊り体験で、あなたがひらく共創の未来！」

座学と阿波踊り体験で、あなたがひらく共創の未来！

日本の歴史と経営哲学から SDGs の視点を学び、

阿波踊り体験で“共創のリズム”を体感する 90 分プログラム。

提案者： 民族舞踊聚団 NIPPON

(株)サンプロデュース所属

代表：望月登喜子

アジア連

SunProduce



I)ご提案の背景

近年、世界的な社会課題の複雑化に伴い、SDGs・多文化共生・DEI の推進は、国際協力・日本語教育・外国人材受入支援に関わる機関において一層重要性が高まっています。一方で、異文化理解や共創力を育む研修は、座学だけでは浸透しにくく「体験を通じた学び」が求められています。

本プログラムは、日本の祭文化が培ってきた**共生・協働・多様性の尊重**という価値観を土台に、座学と阿波踊り体験を組み合わせ、**言語・文化の壁を越えて“共創の感覚”**を体得できるこれまでにない実践型教育プログラムとしてご提案いたします。

II)プログラム概要

未来ラボ「祭×SDGs」は、

日本文化(祭)×SDGs×多文化共生×DEIをテーマにした

実践型・参加型の90分プログラムです。

● 本プログラムの特長

- ・日本の歴史・経営哲学からSDGsを学ぶ座学
- ・阿波踊り体験による“身体を使った共創”
- ・国際交流・異文化理解に強い学習効果
- ・誰もが参加できるユニバーサルデザイン的な活動
- ・コミュニケーション活性化、チームビルディングに最適

● 到達目標

- ・異文化を認め合う姿勢(DEI)の定着
- ・多文化共生への理解深化
- ・共創型コミュニケーション能力の向上
- ・組織・地域での協働意識の醸成

Ⅲ 期待される効果

■ 国際交流・日本語教育機関に最適

- ・ 外国人研修員・留学生への“日本文化理解プログラム”として有効
- ・ 言語を超えた「共通の体験」を共有できる
- ・ 階層別研修や異文化理解研修に即時導入可能
- ・ JICA/JICE 研修、日本語教育機関、国際交流基金の事業と親和性が高い

■ 導入可能な領域

- ・国際研修プログラム
- ・外国人材受入研修
- ・日本語教育プログラム(文化理解)
- ・多文化共生人材育成
- ・国際交流行事・地域研修
- ・DEI 推進研修

Ⅳ) 実施概要・費用

- ・実施時間:90 分
- ・実施形態:対面
- ・必要機材:プロジェクター・音響(再生可能なスピーカー)・体験可能な Space
- ・費用: 200,000 円(税別)※講師 1 名＋舞踊指導 1 名:※交通費別途
- ・規模:20～200程度※参加人数により踊り要踊りの指導者
- ・講師:民族舞踊聚団 NIPPON (株)サンプロデュース所属

代表:望月登喜子・監督・団幹部

